



※この本では、江戸時代の大名相馬家の領地一帯を「中村藩」とし、同じ地域を明治時代以降では「相馬地方」と表記します。したがって、現在の行政区分とは異なります。

## 原町区地図（報徳仕法史跡案内）

33・57  
ページ



齋藤高行屋敷跡  
原町区大原明星入  
(平成16年撮影)

38  
ページ

新祥寺  
原町区本町  
新祥寺には二宮尊徳と妻歌子・子尊の位牌が納められています。

34  
ページ

相馬充胤公の碑  
原町区萱浜赤沼  
旧藩主相馬充胤が明治20年(1887)に亡くなると、これまでの功績に対し感謝の意を込めて、北萱浜(原町区萱浜内)の村民が建てた碑。  
(平成20年撮影)  
※震災により損壊



24  
ページ



中山ため池の碑  
原町区石神杉内  
明治12年(1879)建立。中山ため池の築造を記念して建てられた碑

○のある大字名は、報徳仕法を実施した地区

※地名の「迫」と「迫」は同じ意味です。



# 鹿島区地図（報徳仕法史跡案内）



○のある大字名は、  
報徳仕法を実施した地区



**佐藤信重の碑**  
鹿島区上栃窪

佐藤信重は上栃窪の地元の役人として難工事であった大谷用水を築きました。水路計画の場所は石が堅かったため半田銀山（伊達郡桑折町）から専門の職人を雇い、元治元年（1864）に開始し慶応元年（1865）にようやく完成しました。

この2つの顕彰碑は左から明治24年（1891）・同34年に村の人々によって建てられました。



**池田源左衛門の碑**  
鹿島区榎原

山神社の境内にあるこの碑は、元治元年（1864）、池田源左衛門嘉重を顕彰したものです。嘉重は榎原村いちのせま一ノ堰を築いた人物です。



**犬塚ため池**  
小高区大富

江戸時代後期に築造されたため池。報徳仕法に関するため池の一つです。現在の貯水量は12,800㎡です。

※梅田敏雄氏調査による  
(平成20年撮影)



**報徳二宮神社**  
鹿島区寺内

昭和26年（1951）につくられた神社です。二宮尊徳を祭神としてまつています。



**南右田神社と荒至重像（御神体）**  
鹿島区南右田

北郷でも、とくに水の便が悪かった南右田村に、当時代官であった荒至重は真野川から水を引く用水路をつくりました。これにより収穫が増えた村の人々はこのことを感謝しました。約60年後の大正10年（1921）荒至重の功績をたたえ、村人たちは神社をつくり、祭神としてまつりました。

平成23年3月の地震による津波で社殿は流失しましたが、4年後の27年に再建されました。御神体の像もいったん流失しましたが再発見されました。



**荒至重の碑**  
鹿島区上栃窪

上栃窪の大谷用水をつくることに尽力した代官荒至重を顕彰し、明治23年（1890）村の人々によって建てられた碑です。

ここ見てね!!  
P28・29・33

ここ見てね!!  
P28・29・33



# 小高区地図（報徳仕法史跡案内）



○のある大字名は、  
報徳仕法を実施した地区

※小高工と小高商は、平成29年4月に統合し「福島県立小高産業技術高等学校」となる。